

# オーナーさまのコラム

## 「ビタミン物語」

### 第5話 「夕刻になると物が見えにくくなる」という話 (ビタミンA)(鳥目=夜盲症)

「<sup>トリメ</sup>鳥目」とか「<sup>ヤモウシヨフ</sup>夜盲症」は今では死語となりました。

いづれも太陽が西に傾き始める頃になると、物が見えにくくなったり、映画館などの暗い場所へ入ると周囲が見えにくくなったり、階段を踏みはずすことがあります。

これを「鳥目」とか「夜盲症」と申しております。

これは「ビタミンA」が不足すると起きる「欠乏症」です。  
目の網膜には光を感じ取る「<sup>カンジョウサイボウ</sup>桿状細胞」があり、そこには「ロドプシン」(<sup>シヨフ</sup>視紅)という光に反応する物質があって、光を受け止めています。その「ロドプシン」の主成分が「ビタミンA」です。

「ビタミンA」は目、口腔、消化器官、気管などの粘膜を作ったり、正常に働かせる作用があり、これが不足すると、

- ① 目であれば角膜が乾燥したり、②肌はカサカサになり、
- ② 気管支粘膜に不足すると風邪をひきやすくなります。

「ビタミンA」は米国のメンデルによって、ビタミンAの欠乏した餌を食べたネズミの成長障害から発見されました。

「ビタミンA」の多い食品はウナギ、牛肉、豚肉、卵、牛乳などです。

今回は「元気の素になる」という話 (ビタミンB群) です。

真野美容専門学校 評議員 薬剤師 内藤 良太

# 社員のフログ

## 映画と私

今まで何本の映画を鑑賞したのだろうか、と、ふと考えてみました。

生まれて初めて観た映画は「南極物語」。当時、北海道に住んでいたため、映画に出演していた犬の太郎・次郎に会いに宗谷まで行ったことを、今でもありありと覚えています。

その後、宮崎駿作品に出会い、映像の美しさと物語に引き込まれ、映画だけではなく漫画も購入して、何度も読み返すほどはまりました。

高校生くらいになると、内容よりも出演者が自分の好みかどうかで観る映画を決めていました。映画の鑑賞後にお友達と語り合った時間は常に楽しいもので、青春の思い出です。

一方、大学生時代になると、講義でウッディ・アレンの作品を知りました。講義ではアメリカ文化について学ぶと言うことで、数本観ましたが、それまで好んで観ていた映画とはかなり印象が違い、重く暗く、考えさせられる内容でした。

これをきっかけに、映画から色々な国の文化、歴史、政治に触れられるということを知り、自分の中の映画の世界が広がりました。

子供が生まれてからは映画鑑賞がなかなか出来ませんでした。が、子供の成長とともに自分の時間も出来るようになり、ようやく最近、映画鑑賞の時間がとれるようになってきました。

しかしざ観ようと思っても、どのような作品があるのかわかりません。そんな時「死ぬまでに観たい映画1001本」と言う本の存在を知り、題名に惹かれ思わず購入してしまいました。

1000ページとかなりボリュームのある本で、年代別に映画を紹介しており、全紹介文を読むだけで、2~3年はかかりそうです。まずは、自分の生まれた年の映画から選んでみようかな、など本を眺めるだけで気持ちが踊ります。

映画から勇気をもったり、温かい気持ちになったり、学ぶことが沢山あり、なくてはならない存在です。今はパソコンで好きな時間に好きなだけ観ることができるので、色々なジャンルの作品に触れていきたいです。

鑑賞後しばらくすると、映画の内容をところどころ忘れることがあるので、今年は『映画ノート』を作り、内容や感想を記録していこうと思います。

その時の心持ちで観たい映画が変化し、そんな変化も楽しみつつ、この本を参考にして今年はどうな作品との出会いがあるか、今から楽しみです。

管理営業部 岡本 咲子

## 税務 困ったこと 相談 (無料) !!

懇切丁寧にわかりやすく実益を目指して。

お気軽に信和不動産までご相談下さい。

社長 小林幸孝(上級相続アドバイザー)

地域生活情報誌  
Vol. 163  
2021  
新年号



## 創業70周年

~私達の喜びはお客様の笑顔です~  
**信和不動産株式会社**  
SHINWA

お部屋探しは 信和のホームページで! ▼

<https://www.0007.co.jp>

facebook も更新中▼

<http://www.facebook.com/shinwafudosan>

皆様の多様なニーズに即応します。



### お知らせ

弊社では10月1日に全従業員に新型コロナウイルスの抗体検査を自主的に実施いたしましたところ、全員が陰性の結果でした。今後も感染拡大の防止とおお客様の安全・安心を最優先に、全社を挙げて努めて参ります。

東松原本店 (井の頭線東松原駅前)

世田谷区松原 5-2-3 信和ビル1階

TEL(03)3323-0521/ TEL(03)3323-0525(売買部直通)

梅ヶ丘店 (小田急線梅ヶ丘駅前)

世田谷区梅丘 1-24-2 佐野ビル1階/TEL(03)3425-6145

<信和グループ>

アバマンショップ東松原店  
株式会社レントネット信和



(井の頭線東松原駅前)

世田谷区松原 5-57-7 第1片野ビル2階/TEL(03)3321-2123

~ 毎週火曜日・水曜日定休 ~

## 年頭のご挨拶



明けましておめでとうございます。  
日頃「だいらぼっち」をご愛読いただき、更に弊社にひとかたならぬご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

去年は、年明けの「客船ダイヤモンドプリンセス」の新型コロナウイルス関連のニュースに始まり「ロックダウン」「三密」「ソーシャルディスタンス」「オンラインリモート、ZOOM 会議」「緊急事態宣言」「ドラッグストアからマスク、消毒液、トイレトペーパーが消える」「with コロナ」等のような、今までに聞きなれない言葉が氾濫しておりました。

現在も、日々感染数が多い東京の人間は地方に行きにくくなっている状況です。果たして、いつになったら普通の生活に戻れるのでしょうか？

新型コロナウイルスの感染で苦しむ今、我々は100年前のパンデミック「スペイン風邪」の教訓から得るものがあります。さかのぼること約100年前の1918年、第一次世界大戦の真っただ中にも、世界的なパンデミックがおきております。当時、世界では死者2,000万人～4,000万人とも言われたその伝染病がスペイン風邪です。わが国では、総人口5,600万人の0.8%強にあたる45万人の方が亡くなったそうです。

そのような大混乱の中、当時の内務省衛生局は国民に向け、「人ごみに出ない」「マスクの着用」「手洗い・うがいの励行」「身体の弱い人は特に注意する」等の心得を呼びかけました。当時はまだ電子顕微鏡(1930年代に発明)が開発されておらずスペイン風邪の菌がウィルスであると知られていなかった時代です。

政府は国民に「泰然自若」として対処することを要請しました。泰然自若とは何事にも動じず慌てないこと、だそうです。それらが功を奏したのかはわかりませんが、当時の人々の努力と忍耐の末、国内の流行から約2年で収束したそうです。

ところで、「スペイン風邪」と命名されていますが、発症源がスペインというわけではなく、発症源は不明です。第一次世界大戦当時、参戦当事国は報道管制を敷いていたため、伝染病と言えども迅速な情報発信をしませんでした。スペインは中立国でしたので、スペイン風邪の存在を注意喚起するため世界中に発信したことから、そのような名称になったようです。

今も政府・東京都が「三密を避ける」「安倍のマスクなどのマスク着用」「手洗い・うがいの励行」等を推奨しています。まだ有効なワクチンが実用化されていない今、100年前の教えに学んで感染しない健康な日々を送っていきましょう。

今年の干支の丑年が皆様にとって輝かしい一年になることを祈念いたします。

弊社は『お客様に感動を与える仕事をする』をテーマにしておりますので、皆様のお役に立つべく、今年も新しいことに挑戦してまいります。

代表取締役 小林 幸孝

## 円満相続シリーズ

### お金は後からついてくる



横浜の「野毛大道芸」にコンサルティングの原点を見ました。大道芸人の見事な技は、見ている人の心をつかみ、帽子に入る投げ銭は芸人の実力に比例します。

労務に対する報酬はお金をいただくというより、この人には払わねばと思ってもらえる仕事をするということです。

6人の兄弟姉妹がいます。二女は独身で公務員です。定年まであと3ヶ月というところで持病が悪化し急逝してしまいました。独身で子どもがいません。両親はすでに他界しており、第3相続順位の相続です。5人の兄弟姉妹が相続人になります。

代表相続人の長男は、二女が所有し、住んでいたマンションの売却を含め、遺産整理と相続手続きをワンストップでやってくれるところを探していました。縁あって私が引き受けることになりました。

このような相続は、同居者がいないこと、しかも急逝であること、どこに何があるのか相続人にはさっぱり分かりません。

長男と長女の立ち会いのもと、引き出しや棚の書類を全部出し、ひとつひとつチェックします。通帳、権利証、保険証券、契約書など保管しておくもの、捨てていいものを分けていきます。雑ファイルに旧郵便局の定期貯金の証書が無造作に挟んでありました。念のため、ゆうちょ銀行に照会したら、いきていました。

次は不要の遺品を遺品整理業者に依頼し、処分してもらいます。団体信用生命と住宅ローン残債の相殺、火災保険の解約、管理組合の脱退など、マンション売却に向け処理をしていきます。物件は駅徒歩1分の好立地にあり、買い手はすぐ見つかりました。

遺産分割も円満かつ円滑に進み、あとは預貯金等の解約引き下ろしです。金融機関を長男と一緒に回り手続きも終わりました。

最後に残ったのは、二女が可愛がっていたペットの猫をどうするかです。故人にとっては大切な家族です。そまつには扱えません。親戚と交渉し引き取ってくださるとのことで安心しました。

相続税申告はパートナーの税理士に依頼しました。第3順位なので相続人が5人おり、相続税基礎控除が膨らみ、生命保険受取金や死亡退職金も非課税のなかにおさまり、相続税は2割加算されましたが余裕をもって一括払いで納付できました。

全ての遺産整理と相続手続きが終わり、相続人全員から「ありがとうございます」とお礼を言われました。

仕事が終わり報酬を請求させていただきました。ところが請求した額より多くの金額が振り込まれてきました。

すぐに電話を入れました、「金額が違っています。」長男から返ってきた言葉は「私たちの気持ちです。」でした。

報酬はいただくというよりも、この人には払わねばと思ってもらえる仕事をするということです。

相手のために良き仕事をすればお金は後からついてくる、実践し実感した相続案件でした。

有限会社アルファ野口 代表取締役・NPO法人相続アドバイザー協議会評議員

野口 賢次

有限会社アルファ野口 TEL. 044-422-1337 FAX. 044-455-0208  
〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子 538 番地メルベージュマルダ 1F